



新編鎌倉志

八

ル 4  
5356  
9





門 凡 4  
號 5356  
卷 9

新編

錄

卷之八

目錄

朝夷名

切通

附

上總介石塔  
梶原太刀洗水

鼻缺地藏

大同村

附阿村

光傳寺

侍從川

油堤

專光寺

六浦

三艘浦

附瀨崎

新編錄卷之八



分類 了3  
番号 54(1)  
通番



2581



嶺松寺

上行寺

能仁寺舊跡

金龍院

附引越村

金澤四石

圓通寺

瀨戶明神

瀨戶辨才天

瀨戶橋

照天姬松

金澤

附吉田兼好舊跡

洲崎

龍華寺

天然寺

藥王寺

稱名寺

附金澤文庫舊跡

御所谷

柴崎村

附權現山本日

能見堂

附益利谷

筆捨松

夫婦松

手子明神

野島村

附平方

金澤原

乙鞠浦

善雄寺



大寧寺

室木村

雀村 附浦江

刀切村

烏帽子島

夏島

猿島 附裸島

新編鎌倉志卷之八

河井恒久友水父纂述

松村清之伯胤父考訂

力石忠一叔貫 參補

○朝夷名切通

附 上總介石塔  
梶原太刀洗水

朝夷名或ハ作ル切通ハ鎌倉ヨリ六浦ハ出ル道ナリ。

大切通トテ小切通トテ二ツアリ。東鑑ニ仁治元年。十

一月三十日。鎌倉ト六浦津中間ヲ始テ當道ノ路

トセラルベキノ由評定有テ。今日繩ヲ孔同。二年。四

月五日。六浦道ヲ造始ラル。前武州泰時。其所ニ



監臨せしめ給ノ間諸人羣集各土石ヲ運ブ。仍テ  
 觀者奔營せずト云事ナレトアリ。此道ノ事ナルベシ。  
 土俗ノ云朝夷名三郎義秀。一夜ノ内ニ切抜タリ。  
 故ニ名クト未考。此坂道ヲ峠坂ト云。坂ノ下六浦  
 ノ方ヲ峠村ト云フ。近比モ淨譽向入ト云道心者。  
 此道ヲ平ゲ。往還ノ惱ミヲヤムルトナリ。延寶三年。  
 十月十五日死スト。石地藏ニ切付テアリ。鶴岡鳥  
 居ノ前ヨリ。三至ニテノ路程。關東道六里ナリ。

上總介石塔 大切通ト小切通トノ間。田中ニアリ。

上總介未考。平廣常カ事歟。廣常ハ高望王九

代孫ニテ。上總介常隆ガ子ナリ。武勇ノ名譽。關  
 東ニ振リ。坂東ハ平氏。武林ハ介ノ其一人ナリ。  
 賴朝卿ニ屬シテ。義兵ヲ助ケ。良策戰功多シ。後ニ  
 諺言ニ因テ。賴朝ニ疑ハレ。壽永二年。十二月ニ殺  
 レタリ。愚管抄ニ。今ハ郎廣常ヲ。梶原景時レテ  
 討セタリ。景時。雙六打テ。ザリゲナシニテ。局ヲ懸  
 テ。頓テ頸ヲカイキリテ。モテキタリケルトアリ。  
 後ニ廣常謀叛ニテアラサル事。支證明白ニテ。賴  
 朝コレヲ殺シタルヲ後悔シ給ヒタル事。東鑑ニ見  
 タリ。鎌倉ヨリ切通ノ坂へ登ル左方ニ。岩間ヨリ



涌出ル清水アリ。梶原が太刀洗水ト名ク。或ハ平三景時。廣常ヲ討シ時。太刀ヲ洗タル水ト云事歟。是モ鎌倉五名水ノ一ツナリ。或ハ此邊ニ上總介廣常が宅アリツルカ。東鑑ニ。賴朝卿。治承四年。十二月十二日ニ。上總介廣常が宅ヨリ。大倉ノ新造ノ御亭ニ。御移徙トアリ。此邊ヨリノ事歟。

○鼻缺地藏

鼻缺地藏ハ。海道ノ北ノ岩尾ニ。大ナル地藏ヲ切付テアリ。是ヨリ西ハ相州。東ハ武州ナリ。相武ノ界ニ

アルヲ以テ。界地藏ト名ク。像ノ鼻缺テアリ。故ニ里俗。鼻缺地藏ト云ナリ。北ノ方へ行道アリ。釜利谷へ出テ。能見堂へ登ル路ナリ。

○大同村 附河村

大同村ハ。鼻缺地藏ノ東ノ方。海道ヨリハ南ニ池子村へ出ル道アリ。其ノ東ノ方ヲ河村ト云ナリ

○光傳寺

光傳寺ハ。河村ノ北向ニアリ。常見山ト號ス。淨土宗。光明寺ノ末寺ナリ。開山ハ。得蓮社忍譽靈傳ト云フ。本尊ハ。阿弥陀。作者不知。



地藏堂 寺門ヲ入左ニアリ。像ハ運慶作。此地福  
山藏光寺ト云フ。地藏ノ二字ヲ分テ辨トス。  
天神宮 寺ノ後ニアリ。

○侍従川

侍従川ハ光傳寺ノ前ヲ流ル、川ノ下ナリ。俗ニ傳  
ヲ照天姫カ乳母侍従ト云女。身ヲ投タル川ナリト

○油堤

油堤ハ六浦橋ノ南。專光寺ノ前ニル堤ナリ。侍従  
照天姫カ粧具ヲ持。此堤ニテ尋來リ。其行方不知  
事ヲカナレシ此所ニ捨置テ。身ヲ投タルトナリ。

○專光寺

專光寺ハ光傳寺ノ東ノ方ニアリ。日光山ト號ス。淨  
土宗。金澤町屋村天然寺ノ末寺ナリ。本尊觀音。  
春日作。是照天姫カ守本尊ナリ。フスベラレシ時。身  
代ニ立レト也。三十三年ニ開帳ス。

日光権現社 鎮守ナリ。

○六浦

六浦 浦或作連。ハ專光寺ノ東ノ民村ナリ。村ノ西北  
ヨリ流出ル川ヲ六浦川ト云。小橋アリ六浦橋ト云フ。  
南方ハ海濱ナリ東鑑ニ上總五郎兵衛尉忠光ヲ



武藏國六連ノ海邊ニ於テ梟首スアルハ此邊ナ  
 ラン。又鎌倉大草子ニ應永四年正月廿四日小山若  
 犬丸ガ子ドモ二人弱年ニテアリシヲ會津ノ三浦左  
 京大夫是ヲメシトリ。鎌倉へ進上シケルヲ實檢ノ後  
 六浦ノ海ニ沈メラルトアリ。此海邊歟。又鎌倉九代  
 記ニハ。田村庄司則義小山若犬丸ニ興シテ管領  
 氏滿ニ叛ケルユヘニ。鎌倉ヨリ攻ケレバ。則義ハ自害ス。  
 其子五歳七歳ニナリシヲ生捕テ。六面ノ仲ニ沈ニ  
 ブカケラレケルト有。

○三艘浦

附瀨崎

三艘浦ハ六浦ノ南向ヒノ村ナリ。昔唐船三艘此  
 所ニ著ク。故ニ名クトナリ。其時ニ載来リシトテ一切  
 經青磁ノ花瓶。香爐等。稱名寺ニアリ。此東ノ村ヲ  
 瀨崎ト云フ。

○嶺松寺

嶺松寺ハ金剛山ト號ス。六浦村ノ北。上行寺ノ西  
 南民家ノ後ニアリ。建長龍峯菴ノ末寺ナリ。寺僧  
 云。千葉胤義カ寺也。開山ハ。月窓諱元曉。儉約翁  
 ノ法嗣。紀州ノ人也。貞治元年十月二日ニ寐ス。按ス  
 ルニ。瀨戸ノ鐘銘ニ。神主平胤義トアリ。神主ハ平姓。



千葉氏ナリ。此人ノ建、立歟。千葉系圖ニモ、胤義ト云有。寺建、立ノ事未詳。

○上行寺

上行寺ハ六浦村ノ北、類ニアリ。六浦山ト號ス。法華宗。中山ノ末寺ナリ。堂ニ釋迦。多寶。法華。題目ヲ安ス。堂ノ前ニ六浦ノ妙法ト云。宗門ニ隱レナキ法師ノ石塔アリ。石塔ニ文和二年。六月十三日トアリ。當寺ノ大檀那ナリ。寺僧ノ云。此法師ハ杉田如法トテ。平時賴ノ臣也ト云フ。然レドモ時賴トハ時代異ナリ。始ハ真言宗ナリシガ。日祐ニ歸、依レテ堂寺ヲ

建、立ス。故ニ日祐ヲ開山トス。身延。中山ニモ。此法師ノ像アリ。日祐ハ千葉宗胤ノ孫。胤貞ノ子。下總中山第三祖也ト云。

寺寶

日蓮消息 壹幅

大曼茶羅 壹幅 日祐筆。

位牌 壹枚。日祐筆ノ曼茶羅ヲ彫付。其下ニ日祐

一代引導ノ靈。法名俗名ヲ彫。應安三年トアリ。

已上

○能仁寺舊跡



能仁寺ノ舊跡ハ。上行寺ノ東。民家ト成テ。上杉憲方明月院道合ノ建主ナリ。古記ニ云。上杉房州太守。築武州金澤能仁寺。創七字伽藍。請方崖和尚。為開山第一。云。號山曰福壽。號寺曰能仁。太守有旨。陞能仁寺位。列諸山者也。永德三年小春日。東暉曇昕謹記。又本尊建主。永德二年三月七日始之。同年四月廿一日終。住持東暉曇昕。奉侍德慧德澤檀那巨喜。上總州法眼朝榮作之。大檀那房州道合。德珠書之。トアリ。方崖諱元圭。儉約翁ノ法嗣ナリ。永德三年九月十六日ニ寂ス。今

建長寺龍峯菴ニ梁牌ノ銘アリ。其文如左。

能仁寺佛殿梁牌銘

恭願皇圖鞏固。而四海昇平。黎庶安寧。而五穀豐稔。檀那前房州太守菩薩戒弟子道合敬白。左伏冀佛運帝運。歷永劫而綿延。寺門檀門經萬年。以昌盛。皆永德二年壬戌四月

日。開山方崖元圭謹題。右

○金龍院 附引越村 金澤四石

金龍院ハ海道ノ東南ニアリ。昇天山ト號ス。又ハ飛石山ト云フ。建長寺ノ末寺ナリ。本尊虚空藏。開山方崖



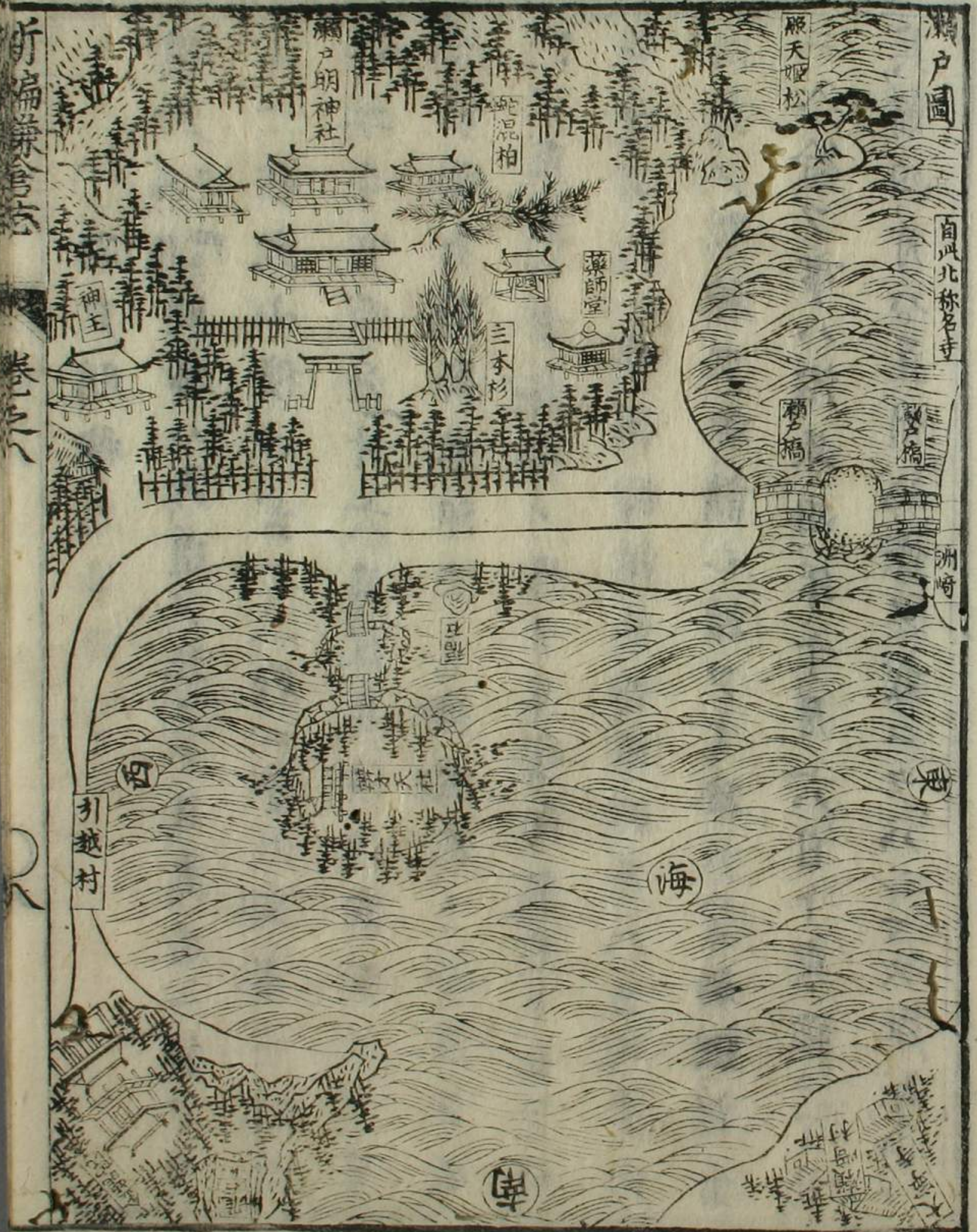
新編鎌倉志 卷之八



元圭此地ノ東北。瀨戸マデヲ引越村ト云フ。  
 飛石 寺ノ後山ニアリ。高サ一丈餘。廣サ九尺餘。ア  
 リ。三島明神。此石上ニ飛來タリト云傳フ。金澤ノ  
 四石ト云フハ飛石。福石。美女石。姥石ナリ。

○圓通寺

圓通寺ハ引越村ノ西ニアリ。日輪山ト號ス。法相宗。南  
 都法隆寺ノ末寺ナリ。開山法印法慧。寺領三十二  
 石。久母。太和。守源。廣之。付スルナリ。  
 東照權現社 山ノ上ニアリ。御代官柳木次郎  
 右衛門勘請シ奉トナリ。





○瀬戸明神

瀬戸或ハ作明神公。海道ノ北ニアリ。鳥居ニ額アリ。正一位大山積神宮ト二行ニ書ス。裏書ニ。延慶四年。辛亥。四月。廿六日。戊辰。沙弥寂尹トアリ。今社領百石。御朱印アリ。神主代々千葉氏也。門ノ左右ニ看督ドク長ノ像アリ。安阿弥アミ作ト云フ。社司云。當社公。賴朝卿。治承四年。四月八日ニ。豆州三島ノ明神ヲ勸請シ給フト。按スルニ。賴朝。鎌倉ニ入給フ事。治承四年。十月六日ト東鑑ニアリ。其前四月。公豆州北條ノ館ニヲハシマス。配座時ナ

リ。當社勸請ノ事不審。鎌倉年中行事ニハ。四月八日。瀬戸三島大明神臨時ノ祭禮トアリ。或云。往古此神。此地へ飛來給。今ノ金龍院ノ飛石。上ニ止トナリ。

寶物

陵玉面 壹枚。

拔頭面 壹枚。共ニ妙作ナリ。

已上

鐘樓 社ノ東ノ方ニアリ。鐘銘如左。

瀬戸三島社鐘銘



洪鐘新製。寄器海壖。靈神振德。衆人結緣。韻  
 徹遠近。銘體黃玄。緇素益大。村里聽鐘。開靜  
 動。闕奏敬悲。田驟化。俗頻敲。夜禪覺。煩惑  
 夢。驚生死。眠昏曉。清響劫。永傳。大戒著。提  
 薩。壘僧普川筆。應安七年。四月十五日。奉鑄  
 之。神主平胤義。檀那沙弥釋阿。并十方四衆  
 等。勸進聖義道。大工大和權守國盛。普川八寶  
戒寺二  
 蛇代目混柏十 社ノ側ニアリ。枝葉長大ニシテ龍蛇ノ  
 起伏スルカ如シ。金澤ニ八木アリ。其一ツナリ。延

寶八年。八月六日ノ大風ニ吹倒カレタリ。梅花

無盡藏ニ。萬里居士カ詩アリ

瀨戸社 自註云六浦廟  
前有古柏屋蝸 萬里

遺廟柏圍六浦橋。朗吟繫馬石支腰。歸鴉飛

破翠屏面。剩被風聲添晚潮。

三本杉 蛇混柏ノ南ニアリ。大木ニテ。根株相

連。三本并生ス。奇シキ形ナリ。放下僧。鎌ヲ復

シタル所ナリ。謠ニモ瀨戸ノ三島トウタフハ此

所ナリ。此三本ノ杉モ延寶庚申ノ風ニ吹倒ス。

藥師堂 社ノ東ニアリ。



○瀬戸辨才天

瀬戸辨才天ハ瀬戸明神ノ前ノ海中へ築出シタル島ナリ。賴朝ノ御臺所平政子。江州竹生島ヲ勸請セラレシ下ナリ。甚々多景ノ島ナリ。東鑑ニハ不見。

寶物

寶珠石 三顆。金襴ノ袋ニ入。社内ニ納ム。

已上

福石 辨才天へ行橋ノ東ノ下ニアリ。金澤四石ノ一ツナリ。

○瀬戸橋

瀬戸橋ハ明神ノ前ヲ東ノ方へ行バ洲崎ノ瀬戸トノ間ニカケタル橋ナリ。中間ニ土臺ヲ築キ。兩方ニ橋ヲカケリ。船其下ヲ通ル様ニシテ。橋杭ヲセズ。能見堂ヨリミユルナリ。

○照天姫松

照天姫松ハ瀬戸橋ノ北ニ當テ。西ノ岸ヨリ出崎ニ一株ノ松アリ。里人云。照天姫ヲフスベシ時ノ松木ノ跡。故ニ姥ガ焼サレノ松トモ云。延寶庚申ノ大風ニ吹折テ。根株ノミ存ス。照天姫并小栗ガ事也。



俗ノ云傳フル説タシカナラス。令按スルニ鎌倉大  
草子ニ應永卅年癸卯春ノ比ヨリ常陸國住人  
小栗孫五郎平満重ト云フ者有テ謀反ヲ起シ  
鎌倉ノ御下知ラ背キケル間源持氏御退治ト  
シテ御動座ナサル結城ノ城ニテ御出同八月二  
日ヨリ小栗ノ城ヲセメラル。小栗兼テヨリ軍兵  
數多城ヨリ外へ出シ防戦ケレ共鎌倉勢ハ一色  
左近將監木戸内匠助先手ノ大将トシテ吉見  
伊與守上杉四郎荒手ニカハリテ兩方ヨリ攻入  
ケレバ終ニ城ヲ攻落サレ小栗ハ行方不知落

行ケリ。後ニ忍テ三州へ落行ケリ。其子小次郎ハ  
ヒソカニ忍テ關東ニ有ケルカ。相州権現堂ト云所  
へ行ケルヲ其邊ノ強盜共集リケル所ニ宿ヲカ  
リケレバ主ノ申ハ此浪人ハ常州有徳仁ノ福者  
ノヨシ聞定テ隨身ノ寶有ベシ。打殺シテ可取由  
談合ス。去ナガラ伴ナル家人共有一カバセント云  
フ。一人ノ盜賊ノ申ハ酒ニ毒ヲ入吞セ殺セト云フ。  
尤ト同ジ宿ノ遊女共ヲ集メ今様ナドヲタハセ。  
躍リ戯フレ。彼小栗ヲ馳走ノ體ニモテナシ酒ヲ  
ス、メケル。其夜酌ニ互ケル照姫ト云フ遊女此間



小栗ニ逢ナレ。此有様ヲスコシ知ケルニヤ。自ラモ此酒ヲ不吞シテ有ケルカ。小栗ヲ哀ミ此由ヲサ、ヤキケル間。小栗モ吞様ニモテテシ。酒ヲ更ニノマサリケリ。家人共ハ是ヲ不知。何レモ酔伏テゲリ。小栗ハ。カリクメニ出ル體ニテ。林ノ有間へ出テ見ケレバ。林ノ内ニ鹿毛ナル馬ヲツナギテ置ケリ。此馬ハ盜共海道中へ出。大名往來ノ馬ヲ盜ミ来リケレ共。第一ノアラ馬ニテ人ヲモクヒワミケレバ。盜共不叶シテ。林内ニツナキ置ケリ。小栗是ヲ見テヒソカニ立歸リ。財寶少と取持テ。彼馬ニ乘。鞭ヲ進メ落

行ケリ。小栗ハ無雙ノ馬乘ニテ。片時ノ間ニ藤澤道場へ馳行。上人ヲ頼ミケレバ。上人哀ミ。時衆二人付テ三州へ送ラル。彼毒酒ヲ吞ケル家人并遊女。少と酔伏ケルヲ。河水へ流シ沈メ。財寶ヲモ尋取。小栗ヲモ尋ケレ共無リケリ。盜人共ハ。其夜ニ分散ス。酌ニ立ケル遊女ハ。酔ケル體ニモテナシ伏ケレドモ。元ヨリ酒ヲノマザリケレバ。水ニナガレ行。河下ヨリ甬上リ助リケリ。其後永亨ノ比。小栗三州ヨリ来テ。彼遊女ヲ尋出シ。種々ノ寶ヲ其へ盜共ヲ尋。皆誅伐シケリ。其子孫ハ。三州ニ代、



居住ストイヘリトアリ。今爰ニ云傳タル照天姫ハ  
大草子ニ所謂照姫カ事ナ。小栗カ名ヲ。世俗ニハ  
兼氏ト云。大草子ニハ名ヲ不記。小次郎トバカリア  
リ。小栗系圖ヲ考ルニ。孫五郎平滿重。其子助重  
ト云者アリ。助重ハ則小次郎歟

○金澤 附吉田兼好舊跡

金澤ハ武藏國六浦莊ノ内ナリ。兼好カ家集ニ武  
藏國金澤ト云。所ニ昔シ住シ家ニテ。月ヲ見テヨメ  
ルト云歌アリ。然ラハ兼好。遁世ノ後暫ク此所ニ居  
タルトミヘタリ。今其舊跡サダカニシルル人ナシ。又後

然草ニ甲香。此浦ヨリ出ツ。所ノ者ハヘナダリト云ト  
書リ。野槌ニ。今金澤ニテ尋ヌレバ。バイト云。又ツフト  
モ云フトアリ。又昔唐船ノツキタル時。唐猫ヲ載來  
故ニ今ニ金澤ノ唐猫トテ名物ナリ。此事梅花無  
畫藏ニモ見ヘタリ。

○洲崎

洲崎ハ瀬戸橋ノ東ノ漁村ナリ。太平記又ハ鎌倉  
年中行事等ノ書ニ。洲崎ト有ハ山内ノ西ニアリ。  
此ニハ非ス。

○龍華寺



龍華寺ハ知足山ト號ス。洲崎村ト町屋村トノ  
 間ニアリ。真言宗。仁和寺ノ末寺ニテ檀林ナリ。門  
 ニハ知足山。堂ニハ龍華寺ト額アリ。開山ハ法印融  
 辨也。本尊。大日也。弥勒像モアリ。脇寮四个。院。其  
 外近邊ニ末寺二十一个寺アリ。寺領五石ノ御朱  
 印アリ。當寺ノ畧記ニ。明應年中ニ。金澤ニ。成願寺  
 光德寺ト云テ。二箇ノ真言寺アツテ敗亡シタル  
 ヲ。融辨二寺ヲ合テ一寺ト成トアリ。或云。太田道  
 灌。修復セラル。故ニ道灌ノ位牌アリ。表ニ春苑道  
 灌菴主。靈。裏ニ文明十八丙午七月二十六日

トアリ。

寺寶

兩界曼荼羅 貳幅。唐畫。

涅槃像 壹幅。唐畫。

十三佛。繡像 壹幅。中將姫製ト云フ。

八祖畫像 壹幅。弘法筆。或云願行筆ト云フ

不動畫像 壹幅。弘法筆也。表。禱ノ裏書ニ。太田

道灌寄進ト有。寺僧云。東照宮御覽アリテ。修

復シ給フ。其時十三佛ノ繡像モ修復シ給フ

ト也。



愛深明王木像 壹軀。弘法五指量ノ作ト云。一

握ノ長ナリ。

鳳凰頭 貳个。運慶作。

龍頭 十個。運慶作。此二種、トモニ木ニテ作。金箔

ヲ貼タル物ナリ。准、頂ノ時、幡ヲ掛具也。

鈴 壹个。弘法所持ト云傳フ。

已上

鐘樓 鐘銘如左

大日本國武州六浦莊金澤鄉知足山龍華寺。菩提勝慧者。乃至盡生死。恒作衆生利而

不趣涅槃般若及方便智度悉加持護法及諸有。一切皆清淨。欲等調心間令得淨除。故有頂及惡趣。調伏盡諸有如蓮體本。漆不有垢。不漆諸欲性。忽然不漆利羣生。大慈得清淨。大安樂富饒。三界得自在。能作堅固。利天文十二年辛丑五月五日。當寺住持法印權大僧都善融檀那古尾谷中務少輔平重長法名道傳。

○天然寺

天然寺ハ法爾山ト號ス。町屋村ノ海道ノ西ニアリ



淨土宗。光明寺ノ末寺ナリ。開山ハ。然誓禪芳。永  
祿二年。二月二十六日。寂。七十九歳。本尊阿弥  
陀。作者不知。

寺寶

出山。釋迦畫像。壹幅。筆者不知。

不動。畫像。壹幅。弘法筆。

觀音。畫像。壹幅。慧心筆。

文殊。畫像。壹幅。筆者不知。

阿弥陀。像。壹軀。慧心ノ作。堅田干體ノ一也。

嵯峨。光阿弥陀。像。壹軀。

辨才天。像。壹軀。

已上

○藥王寺

藥王寺ハ。町屋村ノ東ニアリ。三愈山ト號ス。龍華  
寺ノ末寺ナリ。堂ニ藥師。十二神。像行基。蒲御曹  
司。範賴ノ牌有。表ニ太寧寺。道悟裏ニ天文九年。  
庚子。六月十三日トアリ。後ノ太寧寺ノ條。下ニ詳  
ナリ。



稱名寺圖

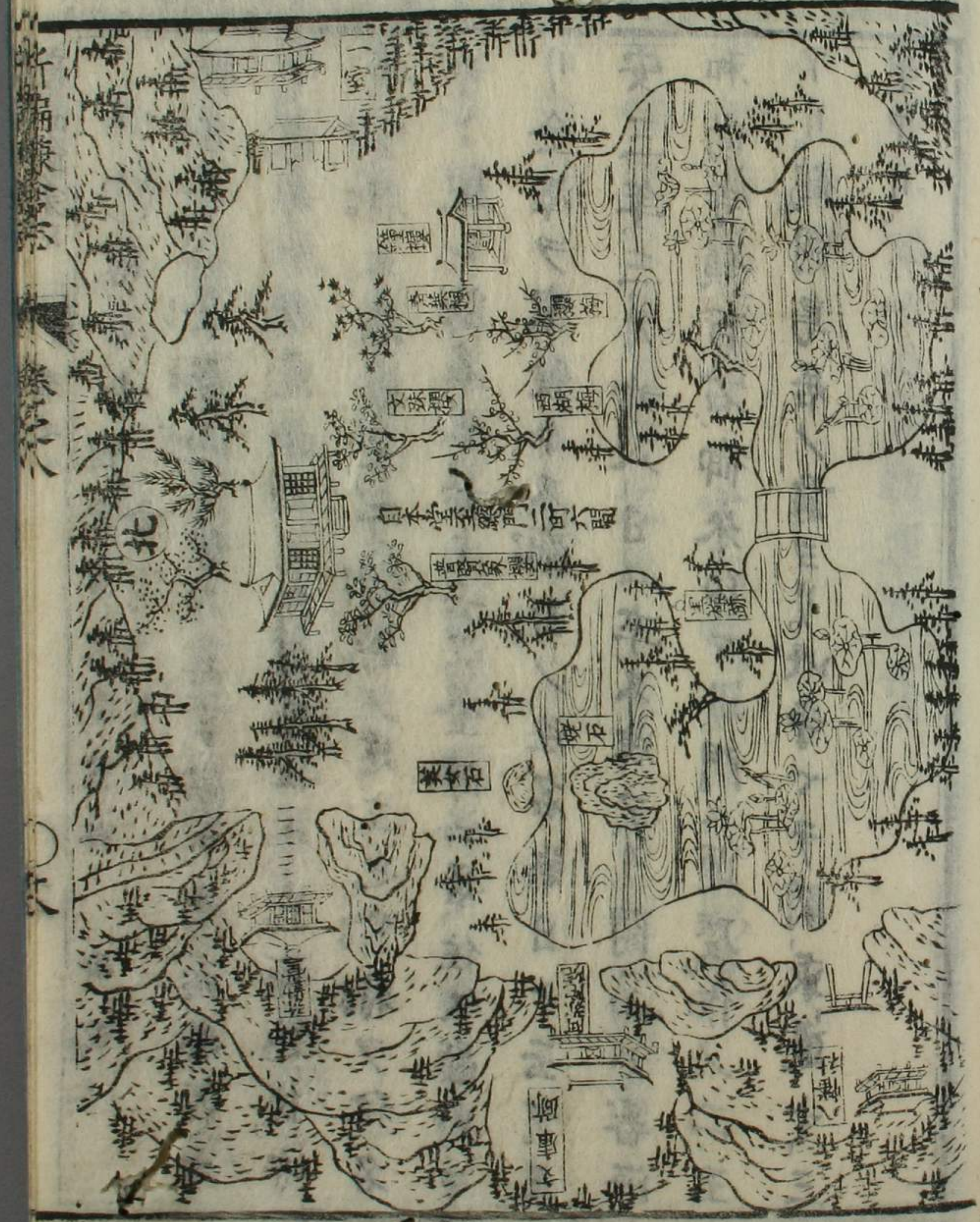
以右為前



自此東北築崎打道

西

四



自本堂至西門可六間

北

池







三尊弥勒木像 壹龕。慧心作。長三寸五分。

不動木像 壹軀。弘法一刀三禮作。長二寸五分。

弥勒泥塑像 壹軀。弘法作。長三寸。坐像。

釋迦像 壹軀。興正菩薩作。

佛舍利 八。祖相承ノ舍利トテ。祖師ヨリ代々相

傳。弘法ニ至テ。大和ノ室生山ニ納置シヲ。龜山

帝ノ勅ニ因テ。此寺ニ納ルト也。昔ハ勅封有トナリ。

牛玉 壹顆。

鹿玉 壹顆。

青磁花瓶 四个。唐物。

青磁香爐 壹个。唐物。

楊貴妃珠簾 壹連。初ハ尾州熱田ノ寶物ナリシ

ヲ。龜山帝ノ勅ニ因テ。此ニ納ムト云フ。ビイドロノ細

キ竿ヲ。色絲ヲ以テアミタル物ナリ。

已上

弥勒堂 本堂ノ西ニ有。一切經ヲ納ム。

鐘樓

大日本國武州六浦莊称名寺鐘銘

降伏魔力。怨除結盡。無餘露地。擊捷槌。菩薩

聞當集諸欲。聞法人。度流生死海。聞此妙響。



有盡當雲集此諸行無常是生滅法生滅滅已寂滅為樂一切眾生悉有佛性如來常住無有變易一聽鐘聲當願眾生斷三界苦頓證菩提文永已已仲冬七日奉為先考先妣結緣人等同成正覺鑄之大檀那越後守平朝臣實時

改鑄鐘銘并序

入宋沙彌圓種述宋小比丘慈洪書

此鐘成乎文永虧乎正應寺而不可無鐘矣因勵微力并募士女更捨赤金重營青鑄者也伏乞先考超越三有同德於寶應聲道遙

十地並位於光音暨乎四生九類共于一種餘響銘曰洪鐘之起其始渺為載于周典稱于竺篇質備九乳形象圓天聲一觸處聞聞入玄三界五趣八定四禪醒長夜夢驚無明眠之朝之夕無愚無賢凡厥聽者同見金仙正安辛丑仲秋九日大檀那入道正五位下行前越後守平朝臣顯時法名慧日當寺住持沙門審海行事比丘源阿大工大和權守物部國光山城權守同依光青葉楓堂ノ前東ノ方ニアリ金澤ノ八木ト云テ青



葉ノ楓。西湖梅。黒梅。櫻梅。文殊櫻。普賢象櫻。  
蛇混柏。雀浦一松トテアリ。五木ハ此處ニアリ。  
蛇混柏ハ瀬戸明神ニアリ。雀浦ノ一松ハ其所  
ニアリ。黒梅ハ絶テナシ。其跡ハ爰ニアリ。或人ノ云室  
村山ニ。管根権現ノ小社アリ。神木トテ大樟ノ  
大木アリ。八木ノ一也ト云傳ト。堯慧法師ガ紀  
行ニ。昔藤原為相卿。如何ニシテ。此一本ノシケレ  
ケシ。山ニサキダツ庭ノモミ千葉ト侍シヨリ後ハ  
此木青葉ニテ。玄冬トテ侍ルヨシ聞ユ。楓樹ク  
千ノコリテ。佛殿ノ軒ニ侍リ。歌ニ。先主バ木ノ

本モノコラジト。カタミノ時雨青葉ニゾ降トアリ。  
謠ニモ作レリ。

西湖梅 堂ノ前東ノ方池邊櫻梅ノ南ニアリ。ハ  
重ノ花ナリ。色白シ。萬里居士詩アリ。

西湖梅 萬里

前朝金澤古招提。遊十羊邊。雖噬臍。梅有西  
湖指枝拜。未開遺恨翠禽啼。自註云。西湖梅  
名之。移栽杭州西湖之梅。未開為遺恨矣。  
櫻梅 八重ナリ。堂ノ前東方。西湖梅ノ北ニアリ。  
文殊櫻 堂ノ前東ノ方ニアリ。或云昔ノ櫻ハ枯テ



今アルハ新木ナリト云フ。

普賢象櫻

千葉ナリ。花ノ心ヨリ一葉出ツ堂ノ前

西ノ方ニアリ。園太曆ニ延文二年。三月十九日

ニ。南庭ニ櫻樹ヲ渡シ裁。殊絶ノ美花也。號鎌

倉櫻トアリ。蓋シ称名寺ニ在リ。在ノ櫻樹力。昔永

福寺ニモ名花有ト三々ナリ。東鑑ニ。往々永福

寺櫻花見ノ事アリ。

美女石并姥石

堂ノ前ノ蓮池ノ中。西ノ岸ノ方

ニアリ。共ニ金澤四石ノ内ナリ。

金澤文庫舊跡

阿弥陀院ノ後ノ切通。其前ノ

畠。文庫ノ跡ナリ。昔北條越後守平顯時。此所

ニ文庫ヲ建テ。和漢ノ羣書ヲ納メ。儒書ニハ墨印

佛書ニハ朱印ヲ押ス。印文ハ楷字ニテ。金澤文

庫ノ四字ヲ堅ニ書ス。後ニ上杉安房守憲實

執事ノ時。再興ス。鎌倉大草子ニ。武州金澤ノ

學校ハ。北條九代ノ繁昌ノ昔。學問アリシ舊跡也。

上州足利ノ學校ハ。承和六年ニ。小野篁上野

ノ國司タリシ時ノ建。立ナリ。今度安房守憲實

足利ハ。公方御名字ノ地ナレハ。學領ヲ附シ。諸

書ヲ納メ。學徒ヲ講。愍ス。サレバ。此比諸國大ニ



亂レテ。學道モ絶タリシカバ。此、金澤少文庫ヲ再興シ。日本一所ノ學校トナル。西國北國ヨリ學徒多ク集ルトアリ。管領源成氏ノ時ナリ。其後ハ類破シテ書籍皆散失ス。一切經ノ切殘タル。弥勒堂ニアリ。

觀金澤藏書而作 義堂

玉帳修文講武餘遣人來覓舊藏書。牙藏映白。窺蚪。斗。縹。帙。乘。暗。走。蠹。魚。圯。上。一。編。看。不足。鄭。侯。三。万。欲。何。如。照。心。古。教。君。家。有。收。在。胸。中。歷。五。車。

御所谷 阿弥陀院ノ後ノ切通ヲ出ル畠ヲ云ナリ。里俗ノ云。龜山帝ノ御所ノ跡ナリト。切通ハ龜山帝御參詣ノ道也ト云フ。今按スルニ。龜山帝。金澤ニ御幸ノ事。舊記等ニ於テ未考。勝地佳境へ遊歴ノ事ハアリ。

顯時石塔 阿弥陀院ノ後ニアリ。顯時ハ平實時ノ子ナリ。前ニ詳ナリ。

貞顯石塔 同所ニアリ。貞顯ハ顯時ノ子ナリ。

藥師堂 門外ノ東ニアリ。

海岸寺 門外東ノ方ニアリ。鎌倉年時行事ニ海



岸寺アリ。昔ハ尼寺ニテ上杉持朝<sup>持朝</sup>女理等。此寺ニ居ス。今ハ稱名寺ノ内ニ屬ス。

光明院 總門ヲ入左ニアリ。

大寶院 光明院ノ向フナリ。

室 本堂ノ東ノ方ニアリ。

阿弥陀院 本堂ヨリ西ノ方ナリ。

八幡社 蓮池ノ西ニアリ。

○柴崎村 附権現山 本目

柴崎村ハ稱名寺ノ東ノ出崎ノ方ニアリ。此村南ニ権現山ト云フ所アリ。北条盛衰記ニ。上杉<sup>上杉</sup>治部

少輔入道建芳カ被官ニ。上田<sup>上田</sup>藏人入道ト云者。武藏國神奈川へ出張ス。権現山ヲ城ニ構へ上杉<sup>上杉</sup>ニ背クトアルハ此所ナラン歟。前ニ所<sup>所</sup>謂<sup>謂</sup>小栗孫次郎カ。盜賊ニ逢シ所モ此所ナラン。権現堂トモ云也。此村ノ東ノ出崎ヲ本目ト云フ。



能見堂所見圖



○能見堂 附金利谷 筆捨松 夫婦松

能見堂ハ称名寺ノ西北ノ山上ニアリ。里俗ハノツケ  
 ン堂ト云。昔シ。畫工巨勢金岡。此所ノ美景ヲ寫シト  
 シテ。アキレテ。ノツケニソリタル故ニ。ノツケン堂ト云  
 ナリ。或云。風光ノ美。此所ヨリ不殘能見ユル故ニ。能  
 見堂ト云。又云。昔ハ堂ナシ。此地ヨリ望ム瀬戸ノ海道  
 能見ユル故ニ。能見道ト云。又梅花無盡藏ニハ濃見堂ト  
 カケリ。今ノ堂ハ。頃年。久世大和守源廣之建立ナリ。  
 此西ノ塩燒濱ヲ。金利谷ト云。能見堂ノ西ノ方ヨリ。新  
 町ノ宿へ出ル道アリ。此地東南ハ海水ニ天眺望窮ナシ。



富士山上總下總房州諸峯不殘見天下ノ絶景ナリ。里民相傳ヘテ西湖ノ八景有ト云。洲崎ノ民家連リタル所ヲ山布晴嵐ト云。町屋村ノ東。平方ノ西。塩燒濱ヲ平砂落鷹ト云。野島ノ南へ出タル所ヲ漁村夕照ト云。或云瀨戸ノ浦邊ヲモ云。室木ノ西。瀨崎村ノ前ノ海上ヲ江天暮雪ト云。野島ノ南。刀切村ノ北。二船見ユルヲ遠浦歸帆ト云。釜利谷村ノ内。手子ノ明神ノ北。塩屋ノアル邊ヲ瀟湘夜雨ト云ナリ。其所ニ瀟湘夜雨松ト云。松アリ。称名寺ノ東ノ出崎柴崎村ノ南ノ邊ヲ洞庭秋月ト云ナリ。称名寺ノ鐘ヲ

寺晚鐘ト云フ。八景總テ能見堂ヨリ云ナリ。鶴岡鳥居ノ前ヨリ能見堂マテ關東路十四里アリ。筆捨松 堂ノ前ニアリ。金岡。金澤多景ヲ感シテ此松ノ下ニテ筆ヲ捨シト也。故ニ名ク。萬里居士詩アリ。梅花無盡藏ニ云。出金澤七八里許。攀最高頂。則山ノ水ノ面ノ之佳致。昔畫師金岡絶倒擲筆之處。有名無基。但其名不甚佳。相傳曰。爨見堂也。又云。畫師擲筆之峯。登々。匍匐路攀高景。集大成。忘却勞。秀水奇山雲不裏。畫師絶倒擲。秋毫。



夫婦松 筆捨松ヨリ東方ニ二本アル松ナリ。

○手子明神

手子明神ハ金利谷村ノ内瀬戸ノ北ニアリ。此所三方ハ山。東ハ瀬戸橋ヨリ入海ナリ。明神ノ北ニ瀟湘夜雨松ト云アリ。此所ヨリ鼻缺地藏へ出ル道アリ。

○野島村 附平方 金澤原 乙鞆浦

野島村ハ瀬戸橋ノ東ノ出崎ナリ。里民ノ云。此處民屋百軒アリ。外ニ一軒モ家ヲ造レバ必災有テ。又元ノ如ク百軒ノ數トナル。依之百軒島トモ云也。此所ノ出崎ニ紀州大納言頼宣卿。塩風呂ノ舊地有。

山ノ出崎ニ稻荷ノ宮アリ。山ノ中段ニ天神ノ宮アリ。野島ノ少シ北ヲ平方ト云フ。平方ノ西町屋村ノ東ヲ金澤原ト云。野島ノ東濱ヲ乙鞆浦ト云フ。

○善雄寺

善雄寺ハ野島村ノ内ニアリ。野島山ト號ス。真言宗。龍華寺ノ末寺ナリ。本尊ハ不動。觀音。聖德太子。作愛染。私法。作長五寸。腹内ニ愛染小像千體作リ。コト云フ。寺ノ側ニ井アリ。清冷ナリ。



大寧寺圖



○大寧寺

大寧寺ハ瀨崎村ノ南ニアリ。海藏山ト號ス蒲御曹  
 司源範賴菩提寺也。開山ハ千光國師。今建長寺  
 ノ末寺ナリ。本尊藥師。十二神。是ヲヘソ藥師ト云  
 フ。勸進帳ノ畧ニ云。昔シ伏見帝。永仁年中ニ。此村ニ  
 貧女アリ。父母ノ忌日ニアタレドモ貧シテ佛ニ供養  
 スベキ様ナシ。絲ヲクリ。ヘソトシテ。コレヲ賣テ。父母忌  
 日ノ佛餉ニ備ヘント思フ。然レドモタヤスク買人ナシ。  
 或時童子一人來テコレヲ買フ。其價ヲ以テ父母忌  
 日ノ供養ヲ勤ム。不思議ノ思ヒヲナシ。所ニ。此藥師



佛ノ前ニ其ヘソ多クアリ。始テ知ヌ如來貧女純孝ノ志ヲ感ジテシカルコトヲ。自レ余以來ヘソ藥師ト云フトアリ。鶴岡ノ島君前ヨリ。此寺マテ關東路十里アリ。

題太寧寺 六首 絶海

寺樓一椽晚江煙。潮送鐘聲落釣船。老矣身心祿事外。閒鷗容我社中眠。  
殘曉香消柏子煙。老來無夢趁漁船。聞君去借江村宿。一夜鷗邊看月眠。  
六浦遙連三浦煙。趁風隨岸徙移船。興來撐

棹竊佳處。月落前灣猶未眠。

山銜夕日水籠煙。雪後蘆花月滿船。蓋世功名身外事。幾人能得一菴眠。  
衲衣懶惹御爐煙。還愛華亭載月船。晚興遲留江上寺。三山翠映白頭眠。  
功名蓋世畫凌煙。失墜危樵灑瀕船。一錫歸來楓外寺。白沙翠竹閉門眠。

寺寶

蒲御曹司源範賴畫像 壹幅。  
同自筆和歌 壹幅。



已上

源、範賴、石塔 堂ノ後ニアリ。又堂ニ位、牌アリ。表ニ  
 太寧寺道悟トアリ。裏ニ天文九年庚子。六月  
 十三日トアリ。寺僧云。相傳フ此ハ蒲御曹司源  
 範賴ノ位、牌也ト。此寺中絶シテ。藥王寺ヨリカ  
 ケモ千ニセシ時。藥王寺ノ住持。裏ニ年號月日ヲ  
 如、此書付タリト云。藥王寺ニモ此位牌ノ寫シ  
 リ。異本盛衰記ニ。範賴ハ伊豆修善寺ニ御座  
 ルヲ。景時又賴朝ニ申テ。伊豆ニ越。景時父子三  
 人。五百餘騎ニテ。修善寺ニ押寄ス。範賴ハア  
 ル

坊ニ小袖ニ大口計ニテ御座ケルガ。差詰引詰  
 二射給ケル。寄手多ク射殺サル。其後矢種盡  
 ケレバ。坊ニ火ヲカケ。自害シテコソ失セラレケル。其  
 後景時煙ヲ静メ。範賴ノ焼首取テ鎌倉ニ持テ  
 行。賴朝ニ見セ奉ルト有。其首ヲ此地ニ葬リタル  
 歟未詳。

○室木村

室木村ハ。瀨崎ノ東也。此民家ノ間ニ。大樟大木アリ。  
 或云。八木ノ一ツナリト山上ニ宮根権現社アリ。

○雀浦 附浦ノ江



雀浦ウツリ公室ウツリ木村ノ南ノ出崎ヲ云フ。天神ノ小祠アリ。故ニ天神崎トモ云フ。此地ノ入江ヲ浦江ト云フ。古老云。昔シ此地ニ松一株アリ。八木ノ一ツリト今ハ枯テナシ。此外丈人、柳、猿、這ノ松ナド云有シガ。皆枯タリト。

○刀切村

刀切村ハ天神崎ノ南向ニ。浦江ノ東ニアリ。南ノ入海ヲ榎戸湊ト云フ。

○烏帽子島

烏帽子島ハ刀切村ノ東ノ出崎ノ小島ヲ云フ。

○夏島

夏島ハ烏帽子島ノ東ニアリ。長サ三町餘。横一町餘アル小島ナリ。

○猿島 附裸島

猿島ハ夏島ノ東南ニアリ。五町四方ハカリアリ。其前二三町餘離レテ裸島ト云フ小島アリ。



題新編鎌倉志後

夫鎌倉之為地也固

本邦之一都會自夫豫州創鶴岡與

州宅龜谷而遂為源氏喬木降迄

右將開府于斯瑞泉建鎮于斯奕

世相承逖矣邈矣以故治亂興亡



之迹紛紛其不可搏東鑑太平記  
等書記者不少可以察見而讀焉  
者每患其地理不明而事狀難推  
今是編也乃指示方所區別疆域  
切若手畫而足復且其隱者顯之  
微者著之闕者補之謬者正之固

已盡矣而不特止此以至寺觀之  
什物與夫題詠之篇章凡羣書莫  
所見者亦盡探討罔遺蒐輯弗洩  
一閱之則一時形貌往古繁華瞭  
然觀之行間宴替古之一助也僕  
聞之已熟渴思霓望願欲通行諸



卷之十一

方以資好事懇請數四始得此本  
遂錄之梓以廣其傳云

貞享二年歲次乙丑八月吉旦

洛下書林

柳枝軒茨木方淑識



樂天堂

佐藤了齋  
菴書



樂天堂

佐藤了齋

免音